

7363 高速自動車国道料金		
品 目	銘 柄	単 位
高速自動車 国道料金	普通車、対距離制区間、100km 以内の利用、E T C を利用した場合の料金	1 回
	料金区分（固定額部分・可変額部分）別、地域区分（地方部・大都市近郊）別、 <u>割引区分（平日料金・休日料金）別</u>	
	普通車、均一制区間、100km 以内の利用、E T C を利用した場合の料金	
	区間別、 <u>割引区分（平日料金・休日料金）別</u>	
価格選定		
(1) 対距離制区間及び均一制区間別に価格を選定する。		
(2) 対距離制区間においては、利用 1 回に対して課される固定額部分（ターミナルチャージ）及び利用距離に対して課される可変額部分（1 km 当たりの料金）を選定する。		
(3) 均一制区間においては、区間ごとに設定された、利用 1 回に対して課される均一料金を選定する。		
(4) 価格は、 <u>割引区分（平日料金・休日料金）別</u> の E T C 割引後価格を用いる。E T C 割引後価格は、時間帯別通行台数、割引適用日数を考慮して算出する。		
指数算出方法		
① <u>割引区分(d)別</u> の E T C 割引後価格について、 <u>原則として基準年の日数(4)</u> を用いて加重平均し、料金区分(a)別、地域区分(b)別及び区間(c)別の平均価格をそれぞれ算出する。		
<div><math display="block">P_{t,a,b} = \frac{\sum_d P_{t,a,b,d} A_d}{\sum_d A_d}</math><math display="block">P_{t,c} = \frac{\sum_d P_{t,c,d} A_d}{\sum_d A_d}</math></div>		
② 対距離制区間の場合		
ア 基準時価格で除して、料金区分別、地域区分別の指数を算出する。		
<div><math display="block">I_{t,a,b} = \frac{P_{t,a,b}}{P_{0,a,b}} \times 100</math></div>		
イ 料金区分別、地域区分別の料金収入割合(w)を用いて加重平均し、対距離制区間の指数を算出する。		
<div><math display="block">I_{t,対} = \frac{\sum_{a,b} I_{t,a,b} w_{0,a,b}}{\sum_{a,b} w_{0,a,b}}</math></div>		
③ 均一制区間の場合		
ア 基準時価格で除して、区間別の指数を算出する。		
<div><div><math display="block">I_{t,c} = \frac{P_{t,c}}{P_{0,c}} \times 100</math></div><div><div><math>t</math> : 比較時、0 : 基準時</div><div><math>a</math> : 料金区分</div><div><math>b</math> : 地域区分</div><div><math>c</math> : 区間</div><div><math>d</math> : <u>割引区分</u></div></div></div>		
イ 区間別の料金収入割合(w)を用いて加重平均し、均一制区間の指数を算出する。		
<div><math display="block">I_{t,均} = \frac{\sum_c I_{t,c} w_{0,c}}{\sum_c w_{0,c}}</math></div>		
④ 対距離制区間及び均一制区間別の料金収入割合(w)を用いて加重平均し、品目別価格指数を算出する。		
<div><math display="block">I_t = \frac{I_{t,対} w_{0,対} + I_{t,均} w_{0,均}}{w_{0,対} + w_{0,均}}</math></div>		
価格指数の適用		
全国一律		

t : 比較時、0 : 基準時  
 a : 料金区分  
 b : 地域区分  
 c : 区間  
 d : 割引区分

(2025 年 12 月分まで適用)

7363			高速自動車国道料金		
品 目		銘 柄		単 位	
高速自動車 国道料金	普通車、対距離制区間、100km 以内の利用、E T C を利用した場合の料金		1 回		
	料金区分（固定額部分・可変額部分）別、地域区分（地方部・大都市近郊）別、 <u>曜日（平日・土曜・日曜）別</u>				
	普通車、均一制区間、100km 以内の利用、E T C を利用した場合の料金				
	区間別、 <u>曜日（平日・土曜・日曜）別</u>				
価格選定					
(1) 対距離制区間及び均一制区間別に価格を選定する。					
(2) 対距離制区間においては、利用 1 回に対して課される固定額部分（ターミナルチャージ）及び利用距離に対して課される可変額部分（1 km 当たりの料金）を選定する。					
(3) 均一制区間においては、区間ごとに設定された、利用 1 回に対して課される均一料金を選定する。					
(4) 価格は、 <u>曜日（平日・土曜・日曜）別</u> の E T C 割引後価格を用いる。E T C 割引後価格は、時間帯別通行台数、割引適用日数を考慮して算出する。					
指数算出方法					
① <u>曜日別</u> の E T C 割引後価格について、 <u>日数</u> を用いて加重平均し、料金区分(a)別、地域区分(b)別及び区間(c)別の平均価格をそれぞれ算出する。 <u>なお、曜日別日数は原則として基準年の日数を利用する。</u>					
$p_{t,a,b} = \frac{p_{t,a,b,\text{平日}} \times 5 + p_{t,a,b,\text{土曜}} + p_{t,a,b,\text{日曜}}}{7}$					
$p_{t,c} = \frac{p_{t,c,\text{平日}} \times 5 + p_{t,c,\text{土曜}} + p_{t,c,\text{日曜}}}{7}$					
② 対距離制区間の場合					
ア 基準時価格で除して、料金区分別、地域区分別の指数を算出する。					
$I_{t,a,b} = \frac{P_{t,a,b}}{P_{0,a,b}} \times 100$					
イ 料金区分別、地域区分別の料金収入割合(w)を用いて加重平均し、対距離制区間の指数を算出する。					
$I_{t,\text{対}} = \frac{\sum_{a,b} I_{t,a,b} w_{0,a,b}}{\sum_{a,b} w_{0,a,b}}$					
③ 均一制区間の場合					
ア 基準時価格で除して、区間別の指数を算出する。					
$I_{t,c} = \frac{P_{t,c}}{P_{0,c}} \times 100$					
イ 区間別の料金収入割合(w)を用いて加重平均し、均一制区間の指数を算出する。					
$I_{t,\text{均}} = \frac{\sum_c I_{t,c} w_{0,c}}{\sum_c w_{0,c}}$					
④ 対距離制区間及び均一制区間別の料金収入割合(w)を用いて加重平均し、品目別価格指数を算出する。					
$I_t = \frac{I_{t,\text{対}} w_{0,\text{対}} + I_{t,\text{均}} w_{0,\text{均}}}{w_{0,\text{対}} + w_{0,\text{均}}}$					
価格指数の適用					
全国一律					